

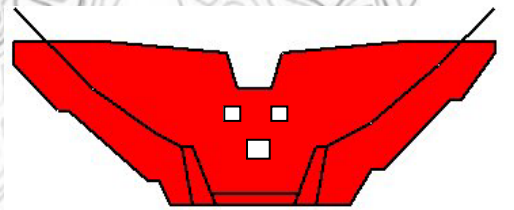
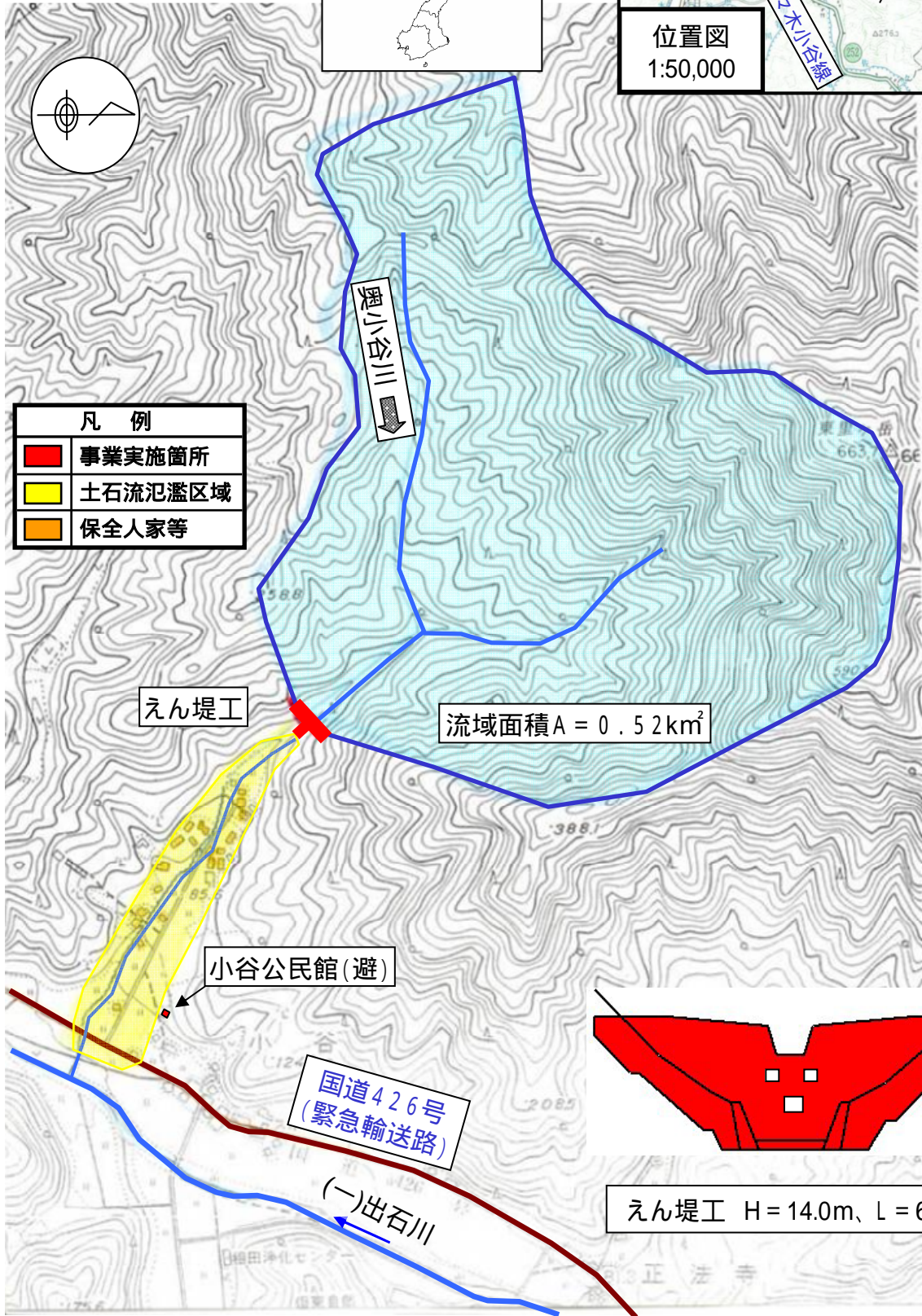
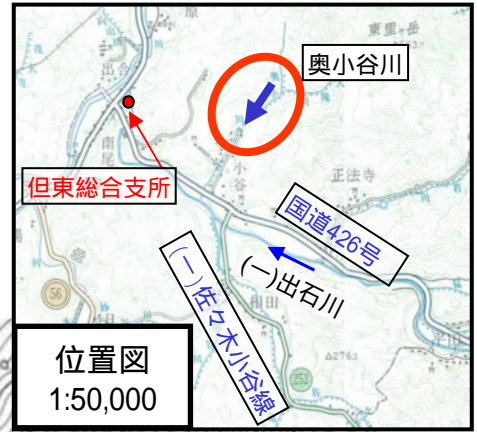
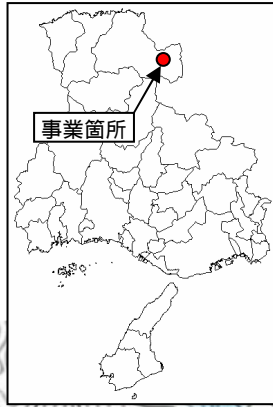
投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.2 億円
		通常砂防事業 おくおだに 奥小谷川		内用地補償費	0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市 <small>たんとうちょうおだに</small> 但東町小谷			H21	H21	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 14.0m, L = 60.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔流域の状況〕		・(一)円山川水系出石川に流入する土石流危険溪流 ・平成16年の台風23号の豪雨により溪岸の浸食が進むなど(最大1.5m)、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。			
(1)必要性 〔保全対象等の状況〕		・土石流が発生した場合の氾濫面積は約7ha(長さ600m、最大幅150m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家19戸</u> ・ <u>国道426号(緊急輸送路:約200m)、市道(約600m)</u>			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成19年10月に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。			
(1)必要性 〔事業執行環境〕		・工事中道路として既存の林道(幅3.0m)を利用し、えん堤設置位置まで寄り付くことが可能であるなど、事業執行環境は整っている。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。			
(4)優先性		・地元要望も強く、市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。 以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。			

おくおだにかわ
奥小谷川
 [豊岡市]

計画概略図
 縮尺 1:10,000



えん堤工 H=14.0m、L=60.0m